

NONROT BRUNO

ブルーノ®

3つの力で木材をコントロール

持続力

10年耐久

安心力

低VOC

対応力

廃棄減

プロが選ぶ信頼の理由。ノンロットブルーノの技術力



年数を重ねた木材を美しく仕上げる

水性木材保護塗料 (WPステイン)

NONROT BRUNO
ブルーノ

屋外用 水性 塗膜型



塗料廃棄減の
秘密を公開!



まずは
1色

無料発送

現場で試せるミニボトルを今すぐ請求!! ▶



ノンロットブルーノ

- 超耐候・防腐・防カビ・防虫効果による造膜タイプ
- JASS18M-307適合
- 環境対応水性タイプ

用途【屋外用】

ログハウス、木造一般住宅、学校、神社仏閣、公園等の木造遊技施設、杭、木製フェンスなどの木部の保護。

標準塗装仕様

工程	塗布量 (g/m ²)	備考
1	下地処理	下地清掃、ヤニ処理、素地研磨(#100~300)
2	1回目塗り	乾燥2~6時間(晴天日)
3	2回目塗り	乾燥1日以上(晴天日)

ブルーノα レデュース

- 別売りのレデュース添加により半造膜にしても耐候性維持
- ブルーノ+レデュースで造膜系から浸透系まで幅広く対応
- 一つの材料で改修現場・新築現場二刀流対応!!

用途【屋外用】

ログハウス、木造一般住宅、学校、神社仏閣、公園等の木造遊技施設、杭、木製フェンスなどの木部の保護。

標準塗装仕様

工程	塗布量 (g/m ²)	備考
1	下地処理	下地清掃、ヤニ処理、素地研磨(#100~300)
2	1回目塗り	乾燥2~6時間(晴天日)
3	2回目塗り	乾燥1日以上(晴天日)

使用上の注意

1. 顔料が沈降していますので、上下左右に充分ゆすり、棒などでよく攪拌してからご使用下さい。使用中もよくかき混ぜて下さい。
2. 刷毛やローラーで塗布して下さい。スプレー塗布は行わないで下さい。ノンロットブルーノは刷毛塗りを推奨しております。
3. 水性用の刷毛をご利用下さい。油性用刷毛をご利用される場合、刷毛が固まる可能性があります。
4. 木材が湿っていると接着が損なわれ塗膜の剥離、膨れの要因となります。含水率15%以下の乾燥した木材に使用して下さい。
5. 雨天時の塗布は避けて下さい。乾燥が不十分な状態で、雨などが当たるとシミができるのでご注意ください。
6. 既存塗膜の上に塗装する場合、剥離、膨れ等のトラブル発生のおそれがありますので事前に下地を確認した上で再塗装をご検討下さい。
7. 既存塗膜の上に塗装する場合、必ず下地処理を実施の上、塗装を行って下さい。
8. 過剰な塗布はベタツキや乾燥不具合の要因となりますのでご注意ください。
9. 床面には塗装することが出来ません。剥離、剥がれの要因となりますのでご注意ください。
10. 人体・衣服が直接触れるベンチ・ベランダ・デッキ・遊具・などに使用した場合、色落ちや着衣を汚すことがありますのでご注意ください。
11. タンニンなどの樹液等を多く含む樹種(ヒノキ、ヒバ、杉等を含む針葉樹、広葉樹、南洋材など)は塗装後に樹液成分がにじみだして色抜け、シミ、汚れ、タンニン汚染、アルカリ汚染等が発生する場合があります。ご注意ください。
12. 施工温度は5℃以上で実施して下さい。
13. 開栓後はすみやかに使用して下さい。
14. 屋外の再塗装は早い時期に行くと耐候性をより高くすることが出来ます。ブルーノは8年前後での再塗装を推奨しております。
15. ご使用の前にSDSをご確認ください。
※ご使用環境や材種によって大きく異なるため、参考値となります。

【注意書き】

<安全対策>：使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。取扱い後は手および顔をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

<応急措置>：皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。汚染された衣類は脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯すること。漏出物を回収すること。

<保管>：容器を密閉して、換気の良いところに保管すること。施設にて保管すること。

<廃棄>：内容物及び容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

<GHSラベル要素>



緊急時の連絡先及び製品に関するお問合せ先

 前田工織産資株式会社

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-39-10 電話 03-3837-5825

国連番号 非該当

指針番号 非該当